幸せになる情報マガジン
丸ちゃん通信　vol. 05
2021年6月発行

どう生きればいいのか？

**人が健康でいるために
あらゆる観点から研究をし続けた
丸山先生が
今あなたに贈るメッセージ！**

丸山アレルギークリニック理事長
丸山　修寛

丸山先生からの
最新情報を
ほぼ毎日更新中♪

丸山修寛の呟き

※十言神呪　読み：とことのかじり
※天御中主命　読み：あまのみなかぬし、または、あめのみなかぬし

カタカムナを使って『人よ、神とつながれ、神となれ』

2020年の夏より、『十言神呪』について解読をしてきました。その中には、『悟って神になるのではなくして、自分（神と同じ力を持った神人間）になるのです』という言葉があります。

私はこれまでに『カタカムナ文字』や『カタカムナウタヒ』の持つエネルギーについても研究してきました。そしてカタカムナ文字の言葉や図像を使うと、高次元のエネルギーをもつ空間が現れ、その中では病気や症状がブラックホールに吸い込まれて行くように消え去っていくという奇跡を何度も体験してきました。

十言神呪の解読に没頭していた日々でしたが、あるきっかけでカタカムナについてもう一度解読することになりました。すると、カタカムナには十言神呪に書いてある『悟って神になるのではなくして自分になるのです』の実践方法が示されていることに気づきました。十言神呪には、組立てという立体図形が示されています。カタカムナにも立体の中心図形が示されており、二つは共通していたのです。

一瞬で人のポテンシャルを引き上げる『ミスマルの珠』

カタカムナウタヒを読んだり、図像を使った際に現れる『ミスマルの珠』は球状の空間を意味します。この空間は、一瞬で人のポテンシャルを引き上げます。ミスマルのスは、天御中主命のことです。天御中主命というのは、昔は神と考えられてきました。しかし、私は素粒子と考えています。マルは○＝丸のことです。ミスマルとは、球（丸）の中に天御中主命（天御中主大神）の力が入っていますという意味です。（図１）ミスマルは、漢字で『大調和』と書きます。ミスマルの珠の形をした天御中主命のエネルギーが満ちている球の中では、それまで三次元空間の中に小さく小さく折りたたまれていて、その存在が見逃されていた極小次元が、ふろしきを広げたように何兆倍にも大きく花開きます。（図２）

私たちがカタカムナウタヒを読むということは、私たちの意識（心といってもいい）がカタカムナを読むということです。私たちの意識の力がカタカムナウタヒに作用して、超極小次元が開き、意識とカタカムナウタヒというカタ（型・形）が共鳴してはじめてミスマルの珠ができ、その中で人が変容します。（図３）

これは人間の意識がカタカムナウタヒを介して、超極小次元と繋がるということを意味しています。一つ一つのウタヒを歌うたびに、異なる超極小空間が開き、そこから、その超極小空間に固有の素粒子があらわれます。つまり、ウタヒを80首読むということは、80種類の極小空間を開くということになります。

カタカムナウタヒを読むことや、極小次元と繋がることにうまいも下手もありません。くり返し行い、慣れるに従って、ミスマルの珠は強力になります。第一首から第八十首まで毎日読んでもいいのですが、大変と感じる場合や、慣れていない方は、第５・６・７首だけを読むといいでしょう。皆さんの生命力がグンとアップすることを願っています。

（図１）天御中主命のはいったミスマルの珠

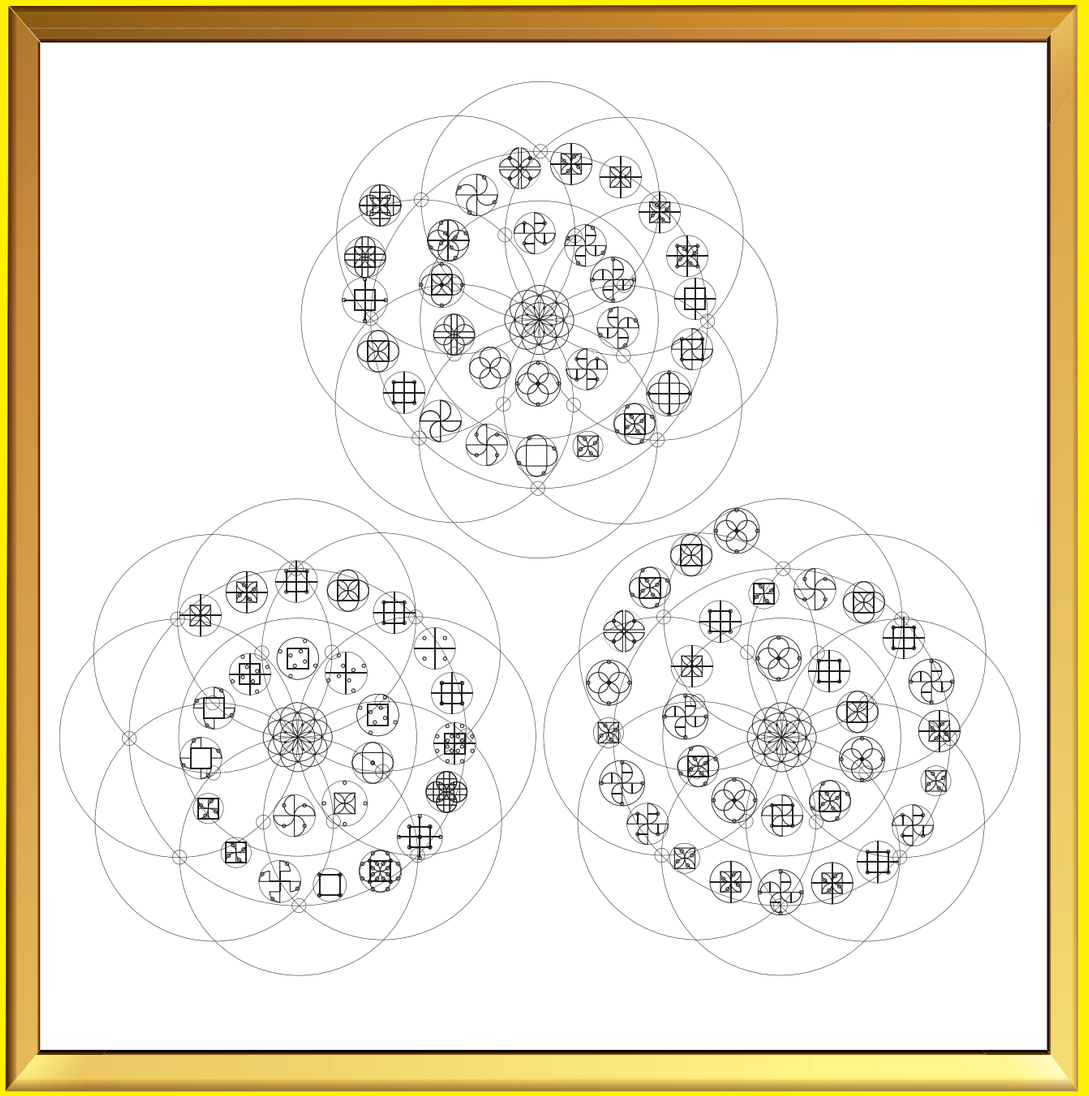
（図２）極小次元が大きく花開くイメージ図

（図３）意識がウタヒに作用して
極小次元が開き、共鳴・変容するイメージ図

丸ちゃん通信　VOL. 05
2021 年 6 月 15 日発行
◎発行：丸山　修寛
◎問い合わせ先：info@maruyamanobuhiro.com
◎編集・送付元：株式会社ユニカ
※この案内は株式会社ユニカでダイレクトメール送付希望登録されているお客様へもお送りしています。
※配信停止を希望される方は、上記アドレスまでご連絡をお願いします。

大好評の
DVD・音声教材は
こちらの
QRコードから

第五首　カタカムナウタヒ
ヒフミヨイ
マワリテメクル
ムナヤコト
アウノスヘシレ
カタチサキ
第六首　ソラニモロケセ
ユエヌオヨ
ハエツヰネホン
カタカムナ
第七首　マカタマノ
アマノミナカヌシ
タカミムスヒ
カムミムスヒ
ミスマルノタマ



今回のクスリ絵　高次元カタカムナウタヒ第５・６・７首

神代文字カタカムナは、宇宙からもたらされた文字です。これをさらにバージョンアップしたのが、高次元カタカムナ文字です。この文字からつくられたカタカムナウタヒ５・６・７首には、とんでもないパワーがあります。高い確率で、あなたの願いを叶えてくれるでしょう。

クスリ絵®とは
眺める・触れるだけで体の不調が消え、運気が上がる「クスリ絵」は、医師・丸山修寛が研究・開発したオリジナルのアート。
神聖幾何学、数字、パワーを持つ形によって描かれた「クスリ絵」は、生命エネルギーの調整や人間が持つ自然治癒力、潜在能力を引き出すのに最適な形や色でつくられたものです。
※このクスリ絵は切り取って飾ったりファイルしたりしてもご使用いただけます。

丸ちゃんアイテムの

使い方発掘!!

電磁波ノイズ対策の〝５ＧＯ（ゴーゴー）〟

丸ちゃん通信 vol.02でもお伝えした、パソコンやスマートフォンのノイズ対策【５ＧＯ】の形状が決まりました。電磁波のノイズで体に不調を起こす方が多いということは、皆さんもご存じの通りですが、今回は、実際にパソコンやスマートフォンを使用しているとき、脳にどのような変化が起こるのか、ニルスという脳の前頭前野の血流量を測定する機器を用いて調べた結果をご紹介したいと思います。

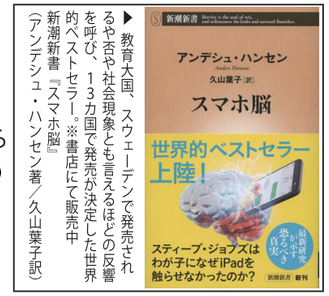
▲ＵＳＢ Type-Ａポートに使用できるタイプは４色、iPhone,iPad 用は１色です。お届けは７月下旬以降予定です。

◀タイプA　◀ライトニング　製品詳細

前頭前野の脳血流を下げるスマホやパソコン

最近、スマホ脳という本がベストセラーになりました。それ以前にも、スマートフォンや携帯電話は脳の機能を低下させたり、成績を下げる原因だということが、新聞でも取り上げられました。実際、スマートフォンやパソコンを操作するだけでも、前頭前野の脳血流が下がります（右頁下図１・２）。もちろん、スマートフォンを頭にあてて電話をするとさらに脳血流が下がります。パソコンを操作しているときも同様です。

数年前に比べ、スマートフォンやパソコンがより私たちの身近になりました。そして、コロナによるステイホームで、これらを使って動画や音楽を楽しんだり、情報収集をする時間が増えた方も多いのではないでしょうか。　スマートフォンやパソコンを使うことは楽しい半面、前頭前野には大きな代償があります。そして、脳血流が下がることは、思考や記憶はもちろんですが、全身に不調を起こす原因ともなるのです。例えば、なにをしても良くならない…と不調を訴える患者さんに、スマートフォンやパソコン、コンセントなどに電磁波対策してもらうようにすると、これまでクスリなどで良くならなかった不調が改善する例が非常に多く見受けられます。電磁波のノイズの悪影響は思ったより拡がっているようです。

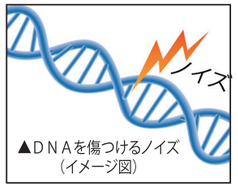


▶教育大国、スウェーデンで発売されるや否や社会現象とも言えるほどの反響を呼び、１３カ国で発売が決定した世界的ベストセラー。※書店にて販売中
新潮新書『スマホ脳』（アンデシュ・ハンセン著／久山葉子訳）

独自の電磁波ノイズキャンセル技術でできた『５ＧＯ』

どんな方でも簡単に、安価に、これまで以上の電磁波対策ができるように試行錯誤してできたのが、この『５ＧＯ』です。

この10年で私たちを取り巻く電磁波の環境は大きく変わりました。電磁波が発生する場に発生する電磁波ノイズは、私たちのＤＮＡや細胞を傷つけます。この体に悪い影響を与える電磁波ノイズを、体にいいものに変換してしまおうという目的で開発したのが『５ＧＯ』です。完成まで何百もの試作を経て、ようやく納得するものができました。もちろん、すでにブラックアイやMAXminiなどで対策されている方にも追加でお使いいただけます。



▲ＤＮＡを傷つけるノイズ（イメージ図）

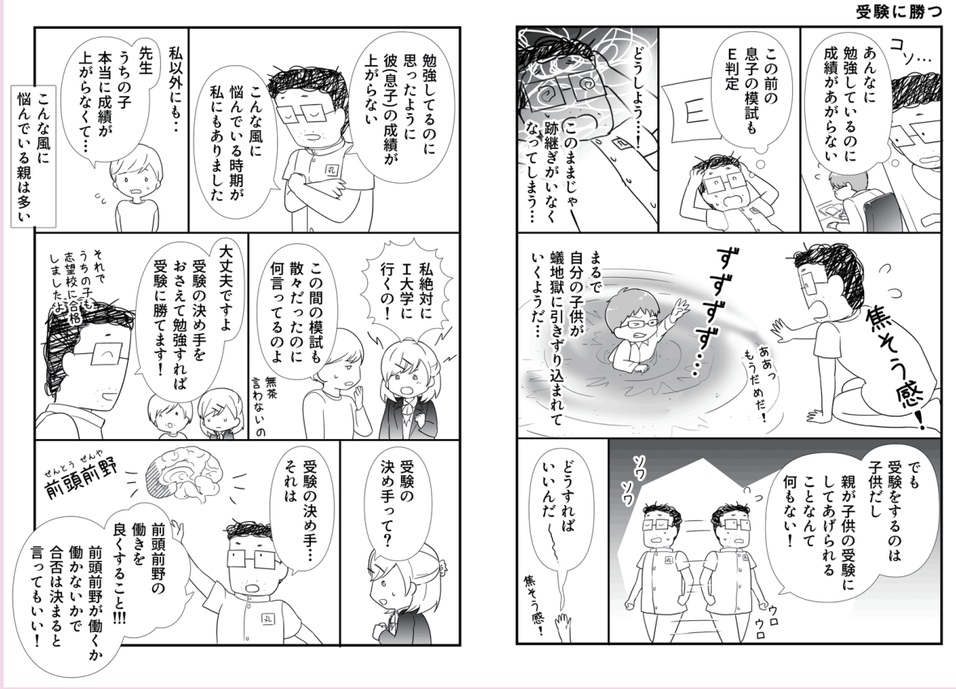
これを使うと、右頁下図３、４のように脳血流もグンとアップします。脳血流が上がるということは、体の各臓器に指示を出す司令塔がうまく働き出した証拠です。司令塔が三流から一流へと変化した体は、脳血流が低かった体とはまるで違います。記憶力も回復力も向上し、体が誤作動を起こし不調になることも少なくなります。

私が問題にしている電磁波ノイズは目に見えませんが、電化製品や電気配線がある場所には必ず漏れ出るものです。このノイズを体に悪いものから良いものに変換するのが、この『５ＧＯ』です。それも身近なスマートフォンやパソコン、コンセントにつけっぱなしにするだけでノイズ対策ができるのです。

是非みなさんも試してみてください。

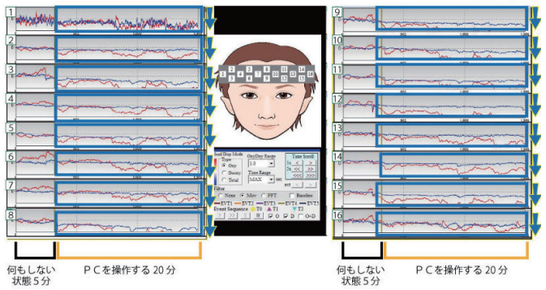
合格 受験コム
http://juken-com.net

脳科学に基づいた、超簡単即効勉強法
コツコツと勉強すれば合格するという考え方は古い！
新しい勉強の仕方は、脳の働きを前もって良くしてから勉強することである。受験合格の決め手である脳の前頭前野を目覚めさせ、その脳を使いこなすというのが最先端の受験スタイルです！

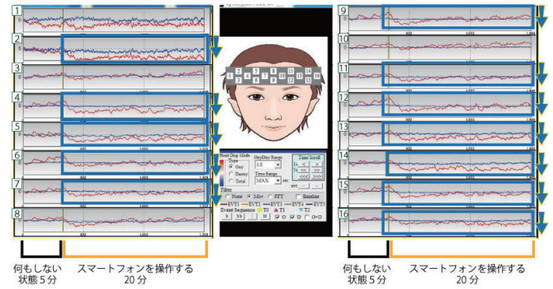


受験生や親御さんだけでなく、脳の働きを良くしたい方もみてくださいね

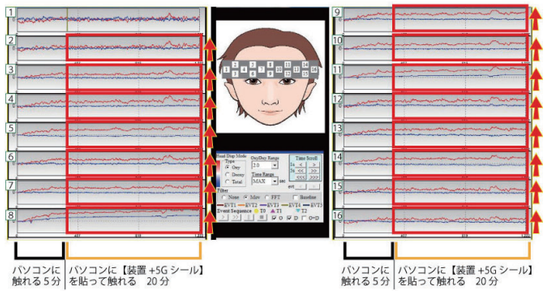
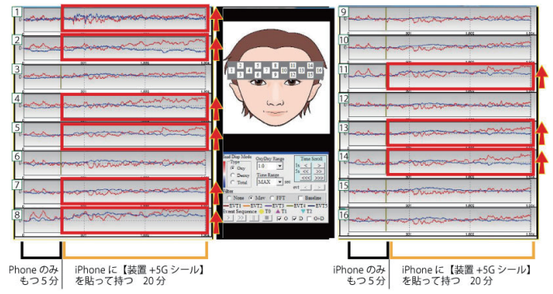
[図１] パソコン（ACアダプタ接続）を操作して脳血流が下がる事例



[図２] 対策なしのスマートフォンを操作して脳血流が下がる事例



[図３] パソコン（ACアダプタ接続）に 5GO を付けて脳血流が上がる事例



[図４] スマートフォンに 5GO を付けて脳血流が上がる事例